

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	教育相談		
英文授業科目名	Educational Counseling		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西村 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
本授業科目では、対人援助職としての教師の資質に欠かせないカウンセリング・マインドを獲得できるよう(1)基本的なカウンセリングの技法を理解する事(2)生徒の発達上の特性を理解し、個別支援、集団支援のあり方を学ぶことを主題とし、実際の教育現場のニーズに対応できる応用力を身につけることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
教育心理学

<b>【教科書等】</b>
特になし(毎時資料を配布) 参考図書: 「カウンセリングのすすめ方」中西信男他 有斐閣新書 1983 「青年期の心」福島 章 講談社現代新書 1992 「教師のパワー」- 児童生徒理解の科学- 淵上克義 ナカニシヤ出版 2000 「教師のためのソーシャルスキル」- 子どもとの人間関係を深める技術- 河村茂雄 誠信書房 2002

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

- 第1回 教育現場が抱える問題
- 第2回 教育相談と教師役割
- 第3回 カウンセリング・マインドと教育相談
- 第4回 クラス運営に生かせる構成的グループエンカウンター（演習）
- 第5回 生涯発達から見た思春期・青年期
- 第6回 青年期の特質と課題
- 第7回 現代青年の抱える問題
- 第8回 他者理解とコミュニケーション技術
- 第9回 傾聴と共感的理解
- 第10回 思春期・青年期臨床－不登校－
- 第11回 思春期・青年期臨床－非行－
- 第12回 思春期・青年期臨床－軽度発達障害－
- 第13回 学校におけるメンタルヘルス
- 第14回 教育相談とネットワーク支援
- 第15回 定期試験

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、課題の達成度、定期試験結果による総合評価  
出席率3分の2以上、総合評価60点以上を満たすこと

### 【オフィスアワー：授業相談】

毎授業終了時

### 【学生へのメッセージ】

講義単元によってはワークショップを取り入れているので積極的に参加すること

### 【その他】